

報道関係各位

株式会社サンケイビル
株式会社サンケイビルウェルケア

サンケイビルウェルケア 住宅型有料老人ホーム
ウェルケアガーデン深沢

2018年2月1日（木）オープン

～昨日より今日を元気に 今日より明日を元気に～

<http://www.sankeiwellcare.com/>

株式会社サンケイビル（本社 東京都千代田区大手町、代表取締役社長 飯島一暢）の100%出資子会社で、有料老人ホームの運営を行う、株式会社サンケイビルウェルケア（本店 東京都千代田区大手町、代表取締役社長 金井岳弘）は、東京都世田谷区深沢に7棟目となる有料老人ホーム「ウェルケアガーデン深沢」を2018年2月1日に開設いたしました。



■ 有料老人ホーム「ウェルケアガーデン深沢」の特徴

◆ 「自立支援介護」の視点から設計された館内設備

「自立支援介護」の4つの基本である「水分摂取」「食事」「排泄」「運動」を考慮した設計となっております。

◆ 24時間看護スタッフが常駐

館内に365日24時間看護スタッフが常駐。緊急時にも迅速に対応します。

◆ 医療機関との連携

ホームドクターとして提携医療機関の医師が定期的に診察。他の医療機関への通院が必要なご入居者の状態は提携医療機関の医師と共有します。

◆ コンシェルジュによるサービス

日々の生活を楽しく、充実してお過ごしいただくため、ご入居者のご要望、ご相談にお応えするコンシェルジュを配置しています。

●自立支援介護の4つの基本から設計された館内設備

[水分摂取]

- ・カフェエリアの設置

[食事]

- ・正しい食事姿勢を保てる椅子形状 (※1)、テーブルの高さを設定

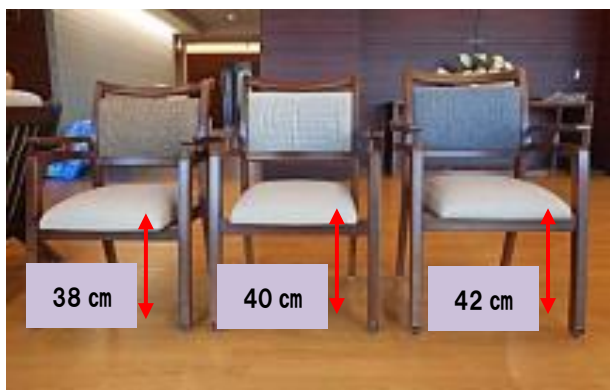
[排泄]

- ・便座に座った際に足裏が床面につく高さの便器
(高齢者のひざ下長さ平均 40cm に合わせた便器高)
- ・自然な排便姿勢を保ちやすいファンレストテーブル設置 (※2)
- ・便器を認識しやすくするための濃い背面壁色
- ・共用トイレは車椅子での使用を考慮した便器の向き、設計 (※3)
- ・居室内トイレは車椅子から便座への座りかえが容易になるよう、扉全開時に便器先端部分が扉よりも前が出るよう設置 (※4)

[運動]

- ・廊下途中にベンチを設置。休憩やおしゃべりを楽しみながら歩行運動
- ・廊下歩行時の距離の目安として廊下床シート柄を2色で張り分け (6.4m ごと)。 (※5)

※1



椅子の座面高さは3種類。下腿長に合わせ、足がしっかり床につく椅子を設置。

※2



※3



車椅子で入室し、向きを変えることなく便座に座りかえが可能な設計となっております。

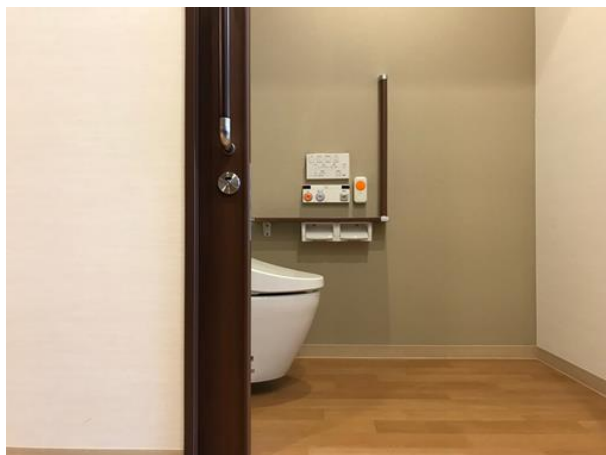
便器後方の介助スペース



便器前方の介助スペース



※4

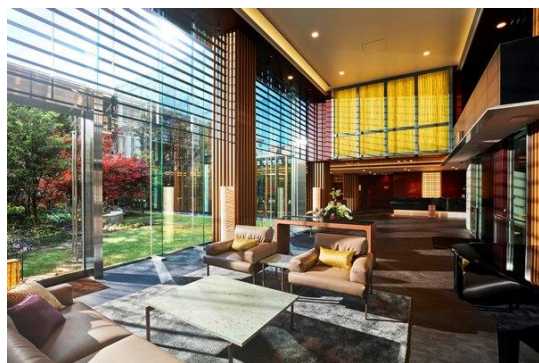


※5



●太陽の光が差し込む吹き抜けエントランス

南側に中庭を設け、太陽の光を十分に取り込む明るいエントランスホールになっております。中庭の植樹はホーム内にいながらも四季を感じさせてくれます。また、この吹き抜けエントランスで音楽観賞会なども行っていきます。



(中庭部分はCG加工をしております)

●居室ドア



昼間しっかり活動し、夜はぐっすり眠っていただくために、安眠を妨げないよう遮音性が高いドアを使用しています。また、出入時の利便性と安全性を考慮し、開けた際、好きな位置で扉が止まる「フリーストッパー」機能がついています。

●パワーリハビリテーション機器

パワーリハビリテーションとは、専用のトレーニングマシンを用いて低負荷の動作を繰り返す「低負担反復運動」です。筋力を強化する運動ではなく、全身の眠っている神経や筋肉を適度な負荷で呼び覚ます、高齢者に効果的なリハビリテーション手法です。



●サーカディアンシステム

メインダイニング、各階リビング、リハビリ室には、人間の生理（体内時計）的生活リズムに合わせた明るさとなる照明を設置しています。

太陽光同様の色温度と照度により、朝の覚醒を助け、夜の睡眠を促します。

●ケアサポートソリューション

ご入居者の離床、転倒、ベッド転落など、異常を感じた際に、お部屋の状況が映像でスタッフステーションや介護スタッフのスマートフォンへ配信。昼夜を問わず、異常事態に備えます。

●窓ガラス【Low-E ガラス】

すべての居室にセントラル硝子の「ペアレックスツインガード」を採用しております。

複層ガラスの室外側ガラスの中空層側に Low-E 膜をコーティングした板ガラスを使用し、断熱性能と日射熱遮蔽性能を兼ね備えた Low-E 複層ガラスとなっております。複層ガラスの持つ本来の断熱性能に加え、Low-E 膜の効果によって通常の複層ガラスよりも断熱性能が高く、結露の発生を抑えます。さらに、Low-E 膜は紫外線を大幅にカットするため、紫外線による家具調度品やカーペットなどの変色・退色を抑制する効果もあります。

●ファミリールーム



お誕生日会やパーティーなど、ご家族、ご友人をお呼びし、特別な時間をお過ごしいただくイベントルームとしてご利用いただけます。

●ライブラリー



カルチャー、アート、文学作品、専門書など 青山ブックセンターが選書した書籍が並びます。

●防災対策

将来起こり得る災害に備え、防災設備や備蓄品を整備しております。

★マンホールトイレ

大地震などにより甚大な被害を被った被災地においては、避難場所のトラブルの上位に「トイレ」の問題が挙げられています。マンホールトイレは、マンホールの上に簡易な便座やパネルを設け、災害時において迅速にトイレ機能を確保することができます。

★かまどベンチ

災害発生時の炊き出しに使う「かまど」の機能を兼ね備えたベンチです。通常時は座板の中に、五徳・風受けパネル・灰落としパネル簡易脚部を収納しており、いざというときには本格的なかまどに変身し、座板部は簡易スツールとしてご利用いただけます。

★非常食（飲料水含む）

災害が発生した際に支援物資が届くまで時間がかかることを想定し、ご入居者や従業員、近隣住民の皆様も含め合計 200 名分の非常食と水を 3 日分完備しております。非常食においては、チキンシチューや野菜シチューなど、味にもこだわって準備しました。また保存水は 3L×3 日間分をご用意し、飲み水としてだけでなく、生活用水としても十分に使用できます。

★発電機・ソーラーパネル

屋上に設置されたソーラーパネルでは発電ができます。また、容量の大きい発電機も完備して

いるため、停電時に非常用電源をすぐ確保できることで、医療機器をご使用になられているご入居者も安心してお過ごしいただけます。

<サンケイビルウェルケアの取り組み>

●「自立支援介護」と「つながり社会」

「自立支援介護」とは、サンケイビルウェルケア顧問で国際医療福祉大学大学院教授の竹内孝仁氏が提唱する介護手法で、「水分摂取、食事、運動、排泄」の実践活動によって、ご本人の^③体調を整え、活動性を上げることで体力を回復し、意欲や活力を取り戻すことを基本精神とするものです。



竹内孝仁氏

サンケイビルウェルケアでは、「自立支援介護」を実践することにより、ご入居者の方々に元気になっていただき、ご自身でやれること、やりたいことを選択肢や可能性を増やし、今までのように社会や地域とつながった生活を再び行っていただきたいと考えています。

※自立支援介護の4つの基本

日常で行われる「水分摂取」、「食事」、「排泄」、「運動」は健康な体作りに密接に作用します。これら4つの基本動作を理論化して実践します。

- [水分摂取] 水は生命の源であると共に活動の源です。1日1500ml以上の水分を摂取することで細胞レベルから体を活性化します。
- [食事] 食事は、活動の源です。常食は、食事の楽しみを増やすと共に人との交流の場を与えてくれます。また、食物をよく噛むことで脳は活性化していきます。
- [排泄] おむつは、自尊心を奪います。下剤を使わない自然な排便は、身体的にも精神的にも良好な状態を作ります。「水分摂取」、「食事」、「運動」を毎日繰り返すことにより体に自然なリズムが生まれ、おむつのいらぬ生活を目指します。
- [運動] 高齢者に最も適した運動は「歩行」です。歩行は生活動作の基盤となり自立した生活を支えます。その他にも、ご本人に応じたリハビリテーションプログラムを作成し、実践します。

■ 施設料金

90歳未満 入居前払金 2890万円 (非課税) 月額利用料 279,240円 (税別)

90歳以上 入居前払金 2320万円 (非課税) 月額利用料 279,240円 (税別)

※月額利用料金には、介護保険自己負担額、医療費（訪問歯科 訪問マッサージ含む）、嗜好品、介護用品（おむつ等）、お部屋で使用される消耗品、理美容費、追加サービス等は含まれておらず、別途実費負担となります。入居前払金0円のプラン等もございます。詳しくはサンケイビルウェルケアホームページをご参照ください。

■ 施設概要

所在地	東京都世田谷区深沢一丁目 32 番 18 号
交通	<p><バスの場合></p> <p>都立大学駅北口から成城学園前行乗車 桜新町駅から都立大学駅北口行乗車 都立大学駅前北口から弦巻営業所行乗車 桜新町駅から目黒駅行乗車 ⇒都立大学理学部前下車 徒歩 1 分</p> <p>駒沢大学駅前から田園調布駅行乗車 自由が丘駅入口から渋谷駅西口行乗車 ⇒八雲下車 徒歩 5 分</p> <p>自由が丘駅から駒大深沢キャンパス前行（深沢 1 丁目経由）乗車 ⇒深沢 1 丁目下車 徒歩 6 分</p>
類型	住宅型有料老人ホーム
敷地面積	3,390.69 m ²
延床面積	4,628.50 m ²
建物構造	鉄筋コンクリート造 地上 3 階・地下 1 階
居室総数	96 室
居室面積	20.29 m ² ～20.43 m ²
共用設備	メインダイニング（1 階）、リビングダイニング（1～3 階）、リハビリルーム、浴室、健康管理室、相談室、ランドリー、駐車場 他
開設日	2018 年 2 月 1 日
設計	株式会社日建ハウジングシステム
施工	株式会社森組

【株式会社サンケイビルウェルケア 会社情報】

設 立 日 2011 年 4 月 1 日
資 本 金 1 億円
株 主 構 成 株式会社サンケイビル 100%
主な業務内容 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の運営

サンケイビルウェルケアでは、「Value aging(バリューエイジング)」をコンセプトにご本人の自立を支援し、豊かに暮らし続ける事を目指す介護サービスを実践していきます。



本資料の配布先：厚生労働省記者会、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会

【本件に関するお問合せ先】

株式会社サンケイビルウェルケア 営業部 田谷(広報担当)
TEL (03)5577-3261 FAX (03)5577-3262 MAIL press@sankeiwellcare.com